



ぼらんていあ通信

10月号
通巻 No.491

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年10月25日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamivainfo/

ほかほかふれあいフェスタ 2022 待ちました！ 3年ぶりの開催 市長さんも見えて！ 日差しも出て賑わい取り戻す…やってよかった！

10月15日(土) 12時30分〜15時30分にかけて、未だコロナが収束していない中、時間を短縮し、食べ物の販売はしないなど、規模を縮小して開催された。心配された天気も日差しがのぞくほどで、徐々に人も増え、例年の賑わいを取り戻したかのようだった。

ウエルネス前広場のステージで、12時30分から開会式があり、鈴木実行委員長が「ほかほかフェスタをやるかやらないか随分ためらいましたが、感染者が減ってきているのと、是非やってほしいという強い要望が出されましたので、規模を縮小して思い切って開くことにしました。十分に楽しんでください」と挨拶された。

本村市長が見えて、ボランティア協会の高橋会長が案内役で2カ所の会場を回られた。あちこちで人垣が生まれ、記念写真に気象に恵まれていた。観客席では舞台の出演者に盛んに拍手をして楽しんでる様子が伺えた。

「障がいのある人もない人もみんな楽しむまつり」とつたっているようにあじさい会館ホールでも広場のステージでも、子どもも大人も日頃の練習の成果が十分に発揮され、しかも演じる側と観客が一体となって、会場一杯に熱気が広がっていた。応援にかけつけた家族の方の「よくできました」の声に、懸命に手を振る姿に感動した。

高橋会長に感想を伺つと「随分悩んだけれど、やって本当に良かった」と感慨深そうに言われた。

(山崎)



ミニ新幹線



本村市長も！



鈴木実行委員長



相模原中央支援学校・相模原養護学校のみなさんの作品展示



けん玉ブース



ヒップホップダンス



よさこいソーラン



手話ダンス



阿波踊り



バザーブース

写真 by 公益社団法人相模原青年会議所の方々
*5ページにも写真特集コーナーがあります。

ボランティヤ活動グループ。訪問記



食でつながる愛の絆
フードコミュニティ



9月9日(金)午後、下溝にあるフードコミュニティを、DVD制作実行委員の杉本さんがビデオ制作のため取材というこころで、わたくしたち広報委員も一緒にじゃまさせていただきました。アパートの一室が活動の拠点になっていて、何人かのボランティアの方たちが仕分けの作業中です。
代表の中臺博さんと副代表の風間真起子さんとお話をうかがいました。

◆フードコミュニティとはどういうものか？
設立は平成28年10月。メンバーは現在17名。貧困や飢餓をなくし、人々が安定した食事がとれるよう活動をしています。

また、食材の有効活用によりロスを削減し、必要とする人々に提供することで食の格差をなくしていきたいと思っています。

◆フードコミュニティの仕組みを教えてください。
個人や企業、各種団体から食材や日用品などの提



代表の中臺さん



副代表の風間さん

供を受けて集荷保管し、賞味期限などを確認したのち、選別、箱詰めして「子ども食堂」「子育て世帯」「高齢者向け食堂」「養護施設」「生活困窮世帯の支援団体」などに無償で提供しています。
また、市民目線にたって市民への食品ロス削減のための啓発活動もしています。

◆フードコミュニティの具体的な活動は？

主な集荷先は、市内のフードバンク団体で『セカンドハーベストジャパン』『フードバンクかながわ』『セカンドリークかながわ』の3か所です。そのほか、JASがみはらや市に寄せられるフードドライブ品、農家さんからの野菜、そして企業からも寄せられるフードドライブ品や企業内の余剰在庫などが主な集荷となっております。

配送にはスケジュール表を作り市内のご自宅や食堂や子育て世帯などに手分けして届けています。

集まった食材などの仕分けにも大変な時間と労力がかかります。例えば子育て世帯には、現在65世帯に配布していて月1回お届けしていますが、取りに来られる方には指定した場所まで受け取りに来ていただいています。

メンバーは男女30代から70代と幅広く、1日2〜3時間、月に数日など仕事や家事の合間での活動です。他にも事務作業などもあります。

興味のある方はご連絡をお待ちしています。自分の時間と思いでお手伝いをしてくださいればいいです。

仕分け作業は慣れないとなかなか難しい面もあります。子供の人数はどうか、本当に困っている人なのか、それぞれの

家庭の事情もつかがっておき状況に合わせた物を届けられるようにしています。赤ちゃんのミルク、贅沢品、嗜好品、洗剤などの日用品も喜んで受け取ってもらえますので歓迎です。

提供品は市内リサイクルセンターや市役所本館6階など「フードドライブ実施拠点」で受け付けています。ここに寄せられた市民の皆さんからの提供品を市が取りまとめ、フードコミュニティが預かりしています。たとえ缶詰一つでも、たくさん善意が集まると多くの困窮者を救う食糧となりありがたい支援です。

また「援助を求めたい方は市社協の窓口にご相談ください」という。自分から手をあげたいという力強くおっしゃっていました。

*次ページに続きます

*フードドライブとは

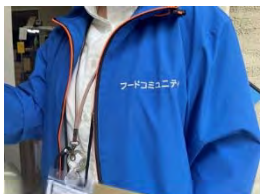
家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設などに寄付することで、食べ物を必要としている人に届ける活動をフードドライブといいます。

*フードドライブ実施拠点

- 市役所本館6階資源循環推進課
- 橋本台リサイクルスクエア
- 麻溝台リサイクルスクエア
- 津久井クリーンセンター



提供品の仕分け作業中です！



副代表の風間さんは、活動を始めてからまだ1年経っていません。「見えない所では本当に困っている人が大勢います。私たちの活動が必要になるような社会を望んでいます。まだまだです。SOSがいなくても聞こえる社会になること、SDGsに繋がることであることなど、寄り添いながら深く理解して活動したい」と力強く思いを語って下さいました。

代表の中臺さんは、退職してからこの活動を始めて7年になります。奥様も他のボランティアと一緒に日々の作業を支援していらっしやいます。家賃のほかにも車、ガソリン代、食品保存の冷蔵庫などにも必要になります。運営は助成金頼みになります。行政や企業などから助成金の募集があれば、その中からフードコミュニティに合うものをその都度選んで申請しているそうです。もちろん皆様からの「寄付も大切に使用させていただいていますが、気の抜けない作業」なそうです。

(恒藤、植野)



*フードコミュニティ
〒252-0335
相模原市南区下溝2103-25
電話 070-4481-4094
Mail : foodcommunity.1001@gmail.com
代表 中臺博

ご提供いただきたいもの

贈答品や余っている食品など、皆様の善意でご提供ください。農家さんの作りすぎた野菜も歓迎です（事前にご連絡ください）。

【お願い】

- 未開封であること
- 賞味期限の記載があり1か月以上あるもの
- 常温保存が可能な物

(要冷蔵・冷凍品は事前にご連絡ください)



ボランティアさん募集!

ともしりぞう
友知草の会（認知症家族の会）では
会報の発送作業のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。

日時：令和4年11月29日（火）13:30から
2時間ぐらい

内容：印刷物を折ったり、宛名を貼ったり封入作業
など

人数：2名

場所：けやき会館3F

さがみはら市民活動サポートセンター

*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

TEL 042-759-7982

友知草の会（担当・富樫）

TEL 090-7812-5257

11月の記念日は?

小倉義男

11月11日、たくあんの日です。

全国各地の漬物協同組合、製造業、卸売業などの団体で構成される全日本漬物協同組合連合会が制定。日本の漬物の代表格であるたくあんの需要拡大を図ることが目的。たくあん漬けは天日干しや塩漬けで水分を抜いた大根を漬けたもの。

日付は11月11日という文字が、たくあん用の大根を並べて干してある様子に似ていることと、たくさんの「1=わん=あん」があることから。お茶漬けにたくあん、日本人に合いますね。



(o^o)

小倉画

理事報告



10月8日(土) 定例理事会(理事7名出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼら通部会

ぼら通10月号の印刷・発送日を確認

・情報部会

新たに加入予定メンバーとの顔合わせの

スケジュールの調整

〈HC委員会〉

運転者交流会開催に向けた内容検討

〈事務局委員会〉

新規利用希望者への訪問対応の検討

〈講座検討委員会〉

春講座の内容検討

〈傾聴委員会〉

講座受講後に加入したメンバーを対象とした傾聴活動見学を実施

2、審議事項

(1) 2023年度の通常総会開催日を設定

(2) 新春ホーリング大会の開催日を2023

年2月18日(日)決定

次回理事会 11月12日(土) 10時より

寄付のお願い

◆寄付者は税制面での優遇措置を受けられます!! ◆

◆寄付金は税制面での優遇措置を受けられます!! ◆

口頭は、当該会の活動にご理解いただきありがとうございます。ボランティア協会では、来年度もさまざまな事業を展開して参ります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

12月までに寄付をいただいた方々を今年分の確定申告(来年2月3月)に間に合います。

詳細は、当協会にお問合せ下さい。

*認定NPO法人相模原ボランティア協会

電話 042-759-7982

会員の皆様にはゆづり銀行の払込取扱票(手数料協会負担 ※但し、現金でお支払いの場合は別途手数料百円がかかります。)を同封いたしますので、よろしくお願いたします。

Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

音訳ボランティアから頂いた宝物

鈴木 香穂里



思い返せば私は1982年「相模原市録音奉仕会」の会員になり、2020年までの38年間を音訳ボランティアとして活動させて頂きました。40歳半ばからのこの活動は、視覚障がいの方たちと触れ合う中で、ボランティアである自分の方が沢山助けられて来たように思います。夫の突然死という淵に落ち込んだ時も、音訳を待つという下なる方たちを思うことが杖となり、立ち上がることを助けられました。

音訳の世界は、テープ録音の時代から変遷を経て現在はパソコン録音となり、好きな音訳をするためにはパソコンにも取組みました。

ボランティアには停年はありませんが、視力聴力のことで考え、満足な録音のためには80歳を停年にしてしまえぬと誓い、好きなことから離れがたく、押し押せになってしまいました。

現在は音訳活動の過程で導かれた俳句の会へ、月3回の句会に励んでいます。コロナで句会が出来なかった時は、パソコンでお手伝いすることが出来ました。句会で俳句を読み上げる時は、音訳で訓練していた滑舌が役に立っています。沢山の本を読んできたことも、俳句の糧です。考えれば全てが音訳ボランティアの過程で、私の身体の中に浸み込んだ宝と思わずにはいられません。俳句には停年が無いので、この宝を大切にこれからの日々を過ごしたいと願っています。

杖となす晩学ありて万年青の実



相模原ボランティア協会 11月の予定

日(曜)	時間	内容
5(土)	10:00~	広報委員会・情報部会
6(日)	10:00~	HC委員会
8(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
12(土)	10:00~	定例理事会
19(土)	13:00~	事務局委員会
24(木)	13:00~	ぼら通11月号印刷
25(金)	10:00~	講座検討委員会
	13:00~	ぼら通11月号発行

DEETセミナーに参加して

西本 敬



公益社団法人相模原青年会議所(相模原JC)主催
の9月23日に相模原市産業会館で開催された掲題の
セミナーに参加してきました。

相模原JCは1965年に市内の青年有志によっ
て結成された団体です。青年の英知と勇気と情熱を結
集し、明るい豊かな社会の実現に向け、地域社会
と国家の発展を図り、会員の連携と指導力の開発に努
めることも、国際理解を深め世界の繁栄と平和に寄
与することを目的としています。

今回のDEET(障害平等研修 (Disability Equality
Training))は、企業や自治体などの組織を対象に、発
見型学習という対話に基づいた方法を用い、障がい者を
排除しないインクルーシブな組織づくりを参加者と
一緒に考えていく研修です。NPO法人障害平等研修
フォーラムの障がい者の皆さんが講師、進行役となっ
て進められました。

全員で80名程度、ボランティア協会からは、私を
含め6名の参加者がいたようです。一度もリアルに会
ったことのないフェイスブック友達にも対面できま



ファシリテータの皆さん

したし、久しぶりにお会
いした方もおられました。
私のテーブルは幼稚園の
先生、高校の先生と一緒
でした。参加者は1グル
ープ、3〜4名に分けら
れて、進行役とともに
話し合いをしながら進
めます。研修は前半

と後半に分けられており、前半は与えられた絵を見なが
ら「どこに障がいがあるのか、気づいたところを付箋を付
けます。後半では動画を見ながらいくつかのエピソード
の中に発見できた障がい者差別やその原因を話し合いま
す。

参加者たちがそれぞれ「どこに障がいなのだろうか？
何故そういう差別があるのだろうか？ どうすれば解決
できるのだろうか？」などと次々と考えていきます。こ
うやっていくうちに、そこそこいいところだったか！
と気づくことがあります。でも、ここにはそれは書きま
せん。全部書いたのでは、きつい著作権の侵害になるで
しょうから。

全部で4時間という研修の内容は述べ切ることはでき
ませんが、これから障がい差別のない組織を作りたい、
そういう事業を進めたいという者にとっては有意義な研
修だったと思います。障がい者に関わるボランティア
活動をしている私たちにとっても、活動を見直すいい機
会になるものと思います。

相模原JCと障害平等研修フォーラムのホ
ームページを参考にさせていただきました。



行動リストを作成



熱心な討議の様子

ほかほかふれあいフェスタ2022ギャラリー



車椅子ダンス



利き手でない手での小豆掴み



よさこいソーラン



要約筆記活動の展示



バンド演奏



大道芸

ねんりんピックかながわ2022で ボランティアセンターのブースを出店！

60歳以上の選手を中心とするスポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典「ねんりんピックかながわ2022」において、市民の皆さんに向けた「ボランティアに関する情報発信」や「活動参加の促進」をテーマとしたブースを出展します。書道や俳句などボランティアの方々による作品の展示や、工作等のワークショップ、子どもの居場所パネル展など、様々な企画を予定しています。ぜひ遊びに来てください♪（雨天時等は中止の可能性あり）

緑区在住の方必見！

日時：令和4年11月13日（日）午前9時30分～午後3時
場所：横山公園 人工芝グラウンド周辺（中央区横山5-11-1）



子どもの居場所(学習支援)ボランティア募集！

名称	開催日時	場所	活動内容
くすのき学習塾 (くすのき広場)	月に4・5回 (月曜日又は金曜日) 午後4時～6時	市営上九沢団地多目的 (緑区上九沢4)	小学生の宿題の見守り、 遊び相手、子ども食堂の手伝いも
大島学習教室	毎週木曜日 午後7時～9時	県営大島団地集会所 (緑区大島11)	外国にルーツのある子どもたちの 日本語習得や学校の宿題の支援、 高校受験等の学習支援
てとてと無料塾 (学習)	毎月第2・4水曜日 午後6時30分～8時	県営大島団地集会所 (緑区大島11)	小・中・高校生の遊びや勉強のお手 伝い・見守り

※詳しい情報は、「子どもの居場所情報サイト」右の二次元コードでご確認ください！

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に
に使わせていただきます。

<9月の寄付者>

8名の方からご寄付をいただきました。

<9月の寄付金>

40,060円でした。

編集後記

今、実家に帰省しています。
で、一人暮らしの高齢の父の
言葉がびびります。
「いや、最近髪が全部白髪
になった！」
うん、そうです。年の割には
髪はあるし、白髪は当然か
と！
「食事が減った」
うん、果物など、好きな物はか
り食べていたら、「ご飯は食べ
られないよねー」
元気な父に感謝です！(恒)



山口尚美画

《9月のイラスト》
…秋はやっぱり栗ご飯！